



# 第9期「こども病院ボランティア養成講座」受講者募集



主催：NPO 法人 こども医療支援 わらびの会 後援：県立南部医療センター・こども医療センター

「県立南部医療センター・こども医療センター」では、20代～70代の方々がボランティアとして活動しています。『病院ボランティアってなんだろう?』 知ることからはじめてみませんか?

開催日時：平成22年8月28日(土) 9時～17時 (昼食は各自で用意。売店・食堂もあります)

開催会場：県立南部医療センター・こども医療センター  
2階講堂(南風原町字新川118-1)

定員  
25名

対象者：病院ボランティアを希望する方・病院ボランティアに関心のある方

受講料：3,000円(学生は半額。振込み手数料のご負担をお願いします)

振込先：琉球銀行本店 口座番号164461 普通預金 口座名 こども医療支援わらびの会

申込み方法：別紙申込書又はハガキかメール、FAXで必要事項を記入して下記へ送付

(必要事項：氏名・年令、職業、住所・電話・FAX・e-mail、応募の動機、ボランティア経験の有無)

## ～ 病院内での活動の様子 ～



小児外来クリスマス



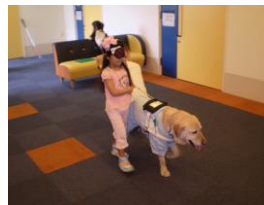
手作り  
クリスマスプレゼント



節分



もちつき大会



小児病棟盲導犬イベント



プレイルーム

## ～ 養成講座の様子 ～



### ～受講者の声～

- ・ ボランティアのイメージが変わって、役に立てるように頑張りたい。
- ・ 大学で学ぶことを活かして、ボランティアに参加したい。
- ・ 病児だけでなく、家族にも目を向けることが大切。
- ・ 病院でのボランティアの役割をしれてよかった。

申込み〆切：平成22年8月20日(金曜日) 必着

### 講座の内容

～病院オリエンテーションと施設見学～

- ・ 病院ボランティアとは-看護の立場・きょうだいの支援から-藤村 真弓(茨木キリスト教大学看護部教授)
- ・ 私たちが望むボランティア - 看護の立場から - 前川 辰子(こども医療センター・小児ボランティアコーディネーター)
- ・ 医師の立場から - 金城 僚(こども医療センター・小児科医)
- ・ ボランティアに必要なマナー 佐渡山 美智子(フリーアナウンサー)
- ・ ボランティア実践を通して感じたこと
  - ①小児外来での活動をとおして②小児病棟での活動をとおして③親の立場から感じたこと
- ・ まとめ - こんなボランティアになりたい - 受講者全員による討論



※ ボランティア実習・登録(8/31(火)～9/3(金) 14:00～16:00 <4日間のうちのいずれか1日>)

※ ボランティア登録にあたって・・・①ボランティア活動保険(自己負担：280円/年)への加入。

②「健康診断書」をこども医療センター総務課へ提出。をよろしくをお願いします。

### 【申込み・問合せ先】

NPO 法人 こども医療支援 わらびの会事務局  
〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373-1 沖縄県総合福祉センター内 西棟2階  
TEL&FAX：098-888-6605 E-mail：info@warabinokai.org  
http://www.warabinokai.org